

第2回 小児がんケア検討会

テーマ：復学支援



日時：2013年 9月 28日 (土) 14:00

場所：慶應義塾大学病院

3号館(北棟) 1階ラウンジ

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35 TEL:03-3353-1211

情報提供：中外製薬株式会社 13:50 - 14:00

座長 慶應義塾大学医学部 小児科 講師 嶋田 博之 先生

【特別講演1】 14:00 - 14:20

『 スムーズな転籍のために 』

新宿区立新宿養護学校 主任教諭 中沢 澄子 先生

【特別講演2】 14:20 - 15:20

『 教育から始めよう -治療後の分岐点- 』

国立成育医療研究センター 臨床研究センター
臨床心理士・臨床研究員 佐藤 聡美 先生

【ディスカッション】 15:20 - 16:00

当日はお菓子をご用意させて頂いております。

主催：中外製薬株式会社

第2回小児がんケア検討会

テーマ：復学支援 抄録

14:00 - 14:20 特別講演1

『スムーズな転籍のために』

新宿区立新宿養護学校 主任教諭 中沢 澄子 先生

病氣療養児に入院治療中より地元校と連携をとり、地元校で使用している教材、学年便り等お知らせの交換、子ども作品の交流等を行い、退院後、スムーズに転籍ができるようにしている。

退院時には個別の教育支援計画を使い、保護者、医療関係者、教育関係者が参加し、主治医から病状や体調等を伝え、退院後の学校生活、進路等について考える支援会議を開催し、子ども支援について話し合っている。
その事例を報告する。

14:20 - 15:20 特別講演2

『教育から始めよう -治療後の分岐点-』

国立成育医療研究センター 臨床研究センター
臨床心理士・臨床研究員 佐藤 聡美 先生

小児がんの治療を経験して、元気に学校に戻れる子どもたちが増えています。
私たち臨床心理士は子どもと家族の心のケアのお手伝いをしております。
特に、心は考える力に直結しますから、私たちは考える力についての研究も進めております。

今回はそのような研究結果から、子どもたちが元気に学校に戻るだけでなく、さらに学校生活を楽しく送れるための教育戦略についてお話をさせていただきます。
考える力に応じて、行動、意欲、達成感のサイクルを回すことが重要です。

会場：慶應義塾大学病院 3号館(北棟) 1階ラウンジ

〒160-8582 東京都新宿区信濃町35

TEL 03-3353-1211



【JR】

総武線「信濃町」駅下車、徒歩約1分

【地下鉄】

都営大江戸線「国立競技場」駅下車（A1番出口）、徒歩約5分

丸の内線「四谷三丁目」駅下車（1番出口）、徒歩約15分

半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車（0番出口）、徒歩約15分